

2 みんなで育てるみよしっ子 ～共育・協育を通して～

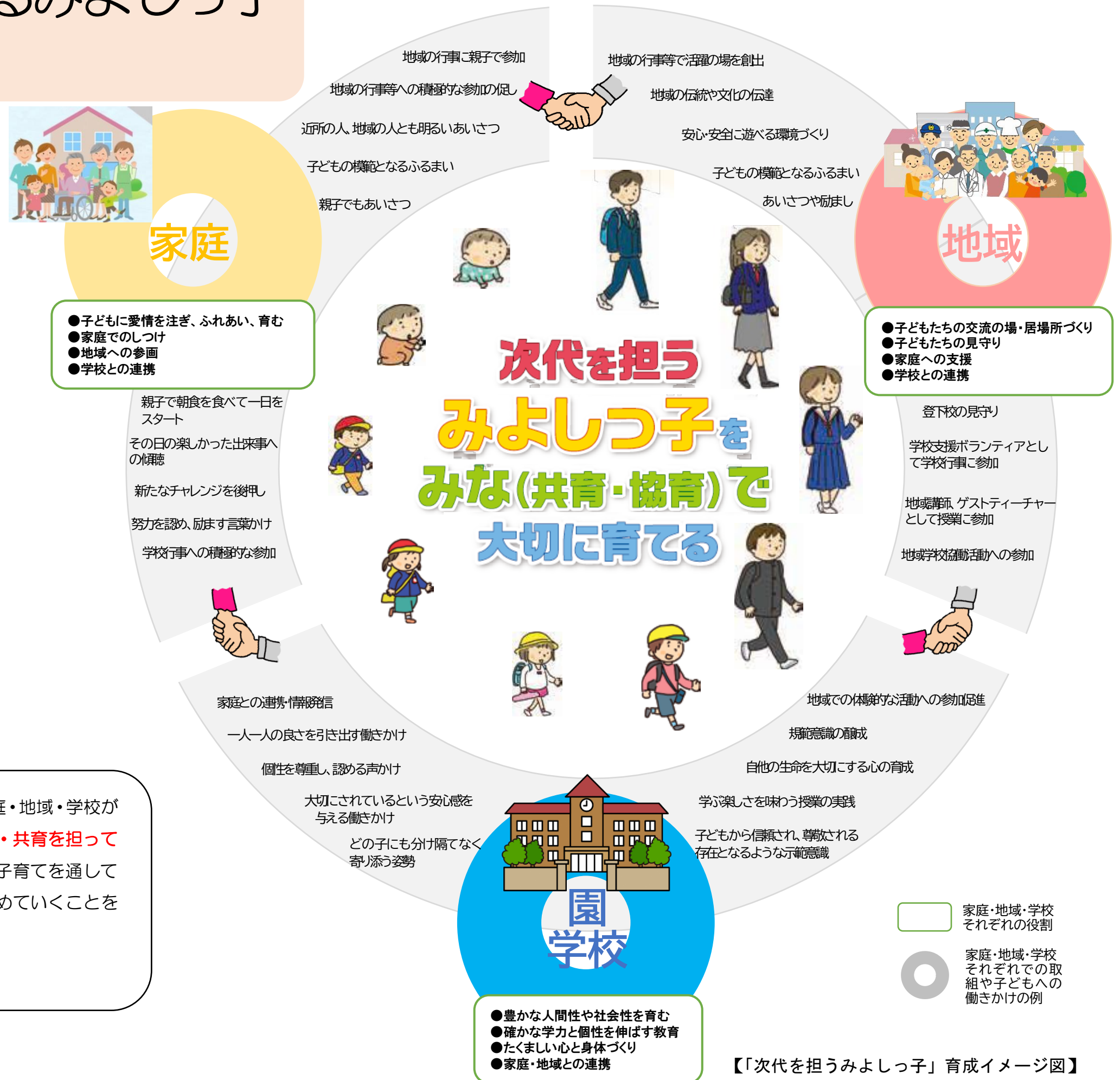
みよし市教育振興基本計画の「目指す人間像」に迫るための手立てである「三本の柱」の一つに、「Ⅰ次代を担う子どもをみんなで大切に育てる」が掲げられています。そこで、「次代を担う子どもをみんなで大切に育てる」ために、右のような『次代を担うみよしっ子』育成イメージ図を作成し、家庭・地域・学校それぞれの役割と、大人が子どもたちに対して「こんな働きかけができればいいな」という取組を例として示しました。

大人は誰もが、「心身ともに健やかな子どもに育てほしい」という願いを持っているはずです。その想いをつなぎ合わせ、共に手を携え協力しながら、家庭・地域・学校が織ぐるみで、ふるさとみよしの次代を担うみよしっ子を大切に育てていきましょう。

「共育」と「協育」について

共育とは、家庭・地域・学校が手を取り合い、「共に子どもたちを育てる」こと、及び子どもの教育に関わることを通して「**子どもたちだけでなく、大人も共に育つ**」ことを意味しています。

協育とは、家庭・地域・学校が「**協力して教育・共育を担っていく**」ことで、子育てを通して相互の連携を深めていくことを意味しています。



【「次代を担うみよしっ子」育成イメージ図】